

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。



in 防府病院

少し秋が深まってきた 11 月 8 日に今年も『防府病院合同芸術祭』を開催いたしました。芸術祭では、各病棟の入院患者さん、デイケアの利用者さん、職員の作品の展示、鑑賞、投票を行い、投票数で決める『優秀賞』やスタッフが選ぶ『特別賞』を授与します。

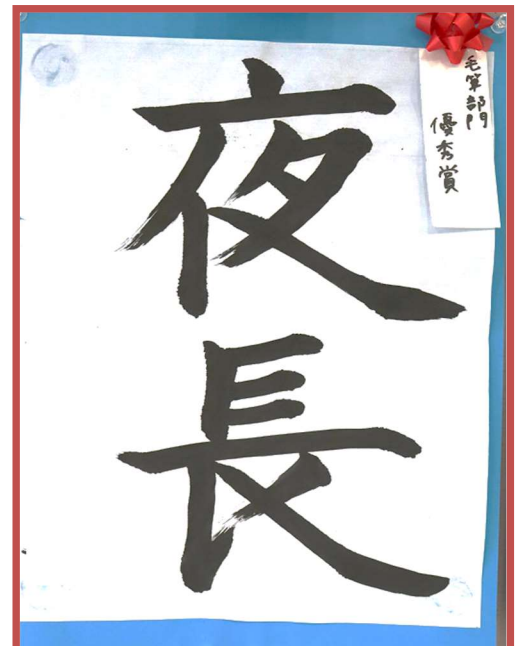
この日のために、患者さんは作業療法の時間に一人で黙々と、あるいは作業療法士と相談しながら、それぞれ熱心に作品作りに取り組みました。中には自分の自由時間をコツコツと作品作りに充てる方もおられ、各々創意工夫を凝らした作品を作り上げました。自由部門の作品の中には、紙粘土を使用した作品や編み物の大きな作品等、例年にはない様々な種類の作品も出展され、会場内の注目を集めていました。優秀賞や特別賞に輝いた方からは「まさか賞が獲れると思わなくて驚いた」「来年もまた頑張りたい」との感想が聞かれました。

また、後半のゲームタイムで行われた『O×クイズ』では、『カバの汗は赤色である？(O)』『トランプのJは王子様を表している？(×:召使い)』といった少し難しめの雑学クイズを出題しました。各病棟の患者さん、職員チームの3チームに分かれて、皆で相談しながら、時には当てずっぽうで、和気あいあいとクイズを楽しみました。

最後に院長より患者さんへ「これからも作業療法に参加して色々なことに頑張してほしい」との言葉がありました。



→ 力強さを感じさせる夜長の字です。
← 彩色鮮やかな塗り絵の作品。





山口県障がい者芸術文化祭



11月19日～11月28日までの期間、山口県政資料館にて、『山口県障がい者芸術文化祭』の応募作品の展示会があり、当院の職員も11月22日に作品の見学に行きました。会場には、書道・手芸・絵画など、どれも見ごたえのある作品ばかりで、センス溢れるとても素敵な空間でした。

当院からは、精神科作業療法『きわ工房』の患者さんと制作した『新紙幣』のちぎり絵の作品を出展しました。残念ながら入選することは出来ませんでした。大きな額縁に飾られた作品は、今にも目の前に飛び出てきそうな迫力がありました。

今後も患者さんと共に思い出に残る素敵な作品を増やしていきたいと思ひます。



新紙幣がモチーフの作品を出展しました！



11月28日、今年も市内にある「毛利氏庭園」へデイケアの利用者さんとデイケア職員で紅葉狩りに行きました。昨年に行った11月中旬はまだ葉が色づききっていませんでした。そのため今回は1週ほどスケジュールを遅らせて11月下旬に決行しました。

今回の外出を楽しみにしている方が多くおられ、天候やお弁当の注文を一週間前から気にかけるなど心配の声も聞かれていました。当日の出発時には曇り空が見られたものの、庭園に到着した頃から晴れ間が見られるようになり、明るい空のもと綺麗に色づいた紅葉をみんなで見る事ができました。



晴れの日に見る紅葉は鮮やかで絶景でした。



庭園の軒下に皆で座って、ほっと一息。

編集後記

肌寒い季節になりました。今年は能登半島地震や旅客機と海保機の衝突や政治資金の問題など、こころの痛む事が多い年になりました。石川県に在住している方には心よりお見舞い申し上げます。また新しい年が始まりますが、健やかな一年になることを願っております。

